

兵庫県立国際高校からウクライナ人道危機救援金をお預かりしました

3月18日、兵庫県立国際高等学校JRC（青少年赤十字）部の清貞さんと加久石さんが、兵庫県支部へウクライナ人道危機救援金を届けてくださいました。

ウクライナ情勢のニュースを見たJRC（青少年赤十字）部員が募金活動を提案し、JRC部員・生徒会・有志の生徒が、3月14日から17日の4日間、JR芦屋駅や阪神電鉄打出駅などで募金活動を実施し、57万5,120円が集まりました。



兵庫県支部の小野事務局次長へ募金を手渡した清貞さんと加久石さんは、「ウクライナで困っている人たちや、隣国に避難した人たちが少しでも楽になるよう、食べ物や医療などの支援を届けてほしい」と話しました。

お預かりしました救援金は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、および各国赤十字・赤新月社が実施する、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために使われます。

募金活動を計画・実施してくださった生徒有志の皆様、そして募金にご協力いただいたたくさんの皆様、本当にありがとうございました。

